

## 今週のメニュー

## ■トピックス

◇PVC News No.106号を発行

塩化ビニル環境対策協議会 事務局

## ■随想

◇ヨルダン・ハシミテ王国旅行記（3）－国王－

一般社団法人 日本化学工業協会 若林 康夫

## ■トピックス

◇PVC News No.106号を発行

塩化ビニル環境対策協議会 事務局

塩化ビニル環境対策協議会（JPEC）は3月15日に [PVC News No.106](#)号を発行しました。今号の特集は「容器包装とプラスチック」がテーマです。巻頭では厚生労働省食品基準審査課長吉田易範氏に登場していただき、15年ぶりに大改正となった食品衛生法に焦点を当て、いまプラスチック業界にとって最大の関心事になっている食品用容器包装に係わるポジティブリスト制度について、その導入の背景、制度の枠組み、リスト化の方針など語っていただきました。

今号の構成は以下の通りです。

## ○特集：容器包装とプラスチック

巻頭インタビュー：改正食品衛生法、施行まで1年あまり

どうなる？食品容器包装のポジティブリスト制度

レポート1：食品用ラップフィルムが支える「食の安全」

レポート2：薬剤の安全・安心を守る PTP 用プラスチックシート

## ○インフォメーション1

もったいないことをゼロに、不幸なペットをゼロに！

## ○リサイクルの現場から

(有)三豊に見る、プラスチックリサイクルの近況

## ○インフォメーション2

塩ビ業界×デザイン学生のコラボ、今年も好評

## ○ものづくりの現場から

奈良県・森川ゴム工業所の塩ビ履物づくり

## ○広報だより

「持続可能な社会づくり」に貢献する塩ビをPR

掲載記事について以下のとおり紹介します。

「レポート1」では、食品用ラップフィルムを手掛けている日立化成(株)の取組みについて紹介しています。食品の鮮度、衛生を保つだけでなく、抗菌、異物混入防止、制限食の注意喚起対策など、より多彩な機能を取り込んで製品開発を行っている同社の取組みについて話していただきました。

「レポート2」では、薬剤の安全・安心を守る包装として重要な役割を担う PTP（プレス・スルー・パック）用プラスチックシートを製造している住友ベークライト(株)の取組みについて紹介しています。塩ビ製 PTP 用シートは、防湿性（水蒸気バリア性）や押出し性（利便性）など要求性能のバランスの良さが評価されています。

「リサイクルの現場」では、塩ビ管リサイクルを手掛けている(有)三豊を訪れて、最近注目されている中国廃プラ禁輸措置に伴う影響やプラスチックのリサイクルをめぐる最新動向について取材しました。

「インフォメーション1」では、塩ビレザーの工場端材などを利用したアップサイクルに取り組んでいるヴィークラフト代表の坂井久美子氏の最近の活動について紹介しています。

「インフォメーション2」では、上田安子服飾専門学校ファッションクリエイター学科ゴシック&ロリータファッションコースの学生と、関西の塩ビ加工会社のグループ・PVCnextの会員であるサンブーツが連携して共同製作したレインブーツについて紹介しています。

「ものづくりの現場から」では、サンダルやブーツなど塩ビ履物を手掛けている奈良県・森川ゴム工業所の取組みについて紹介しています。同社の塩ビ射出成形技術を駆使してカラフルでおしゃれな、多彩なデザインの製品を開発されています。

「広報だより」では、昨年12月に開催されたエコプロ2018に共同出展した塩ビ工業・環境協会と塩化ビニル環境対策協議会のブースについて紹介しています。「持続可能な社会づくり」に貢献する塩ビをPRしました。

PVC News にご興味のある方は以下の url からご覧ください。

<http://www.pvc.or.jp/>

ご講読を希望される方は、下記メールアドレスまで、送付先・TEL・希望部数などをご連絡下さい。

[info@vec.gr.jp](mailto:info@vec.gr.jp)

## ■ 随想

### ◇ヨルダン・ハシミテ王国旅行記（3）－国王－

一般社団法人 日本化学工業協会 若林 康夫

国家の最高責任者であり、軍の最高司令官でもある国王。  
公共施設に行くと、必ず、現国王であるアブドゥッラー2世・ビン・アル＝フセイン国王

と、父親である故フセイン1世・ビン・タラール前国王の写真が飾られています。また、個人のお店や家庭でも、お二人の国王の写真を目にする事が多いです。写真を飾ることは法律などで決められているわけではなく、国民が自主的に飾っています。そう、国民に絶大な人気がある王室なのです。



左：故フセイン1世・ビン・タラール前国王  
中：アブドゥッラー2世・ビン・アル＝フセイン国王  
右：ハシム・ビン・アル＝フセイン王子（王子の写真は、かなり若い頃の写真です）

王室というと、イギリスのエリザベス女王に代表されるように、別世界の人のように思いがちですが、ヨルダン・ハシミテ王国の王室はちょっと違います。

現在の王室は、建国時の国王、故アブドゥッラー1世・ビン・アル＝フセイン元国王から数えて4代目に当たります。2代目の故タラール1世・ビン・アブドゥッラー元国王は様々な問題があり、在位期間が1年ほどしかありませんでした。

3代目であり、現国王のお父様でもある故フセイン1世・ビン・タラール前国王は4人の女性と結婚。中東で一般的な多重婚ではなく、ちゃんと順番に籍を入れておられたようです。実際には、もう一人、結婚を前提に付合っておられた方がいらっしまったようですが、ユダヤ系の方だったため、結婚を諦めたという話もあります。

現国王のアブドゥッラー2世・ビン・アル＝フセイン国王はイギリス人である2番目の奥さんとの間に生まれたお子様です。ちなみに、2番目の奥様は映画「アラビアのロレンス」の撮影スタッフの一人で、何度も撮影現場を訪れていた故フセイン1世・ビン・タラール前国王と出会い、結婚されたそうです。故フセイン1世・ビン・タラール前国王の趣味はアマチュア無線で、私も中学生の時、直接交信はできませんでしたが、他の方と交信しているのを聞いたことがあります。訛りのない、ゆっくりと聞きやすい英語を話されておられました。

また、ご自身が空軍出身のパイロットなので、日本を訪問するとき、王室専用機をご自分で操縦されて来られたことでも有名です。

その息子であり、現国王でもあるアブドゥッラー2世・ビン・アル＝フセイン国王、奥様は一人だけ（イギリス人）ですが、やることはお父様以上。王子時代、アメリカのジョージワシントン大学留学中に、SFテレビドラマ「スタートレック」を見て、すっかりはまってしまい大の「トレッキー（スタートレック大好き人間のこ

と)」に。これが高じて、ついに「スタートレック・ヴォイジャー」に宇宙戦艦の科学士官役で出演までしています。

お父様と同じ空軍出身で、外遊の際は王室専用機をご自分で操縦されています。操縦するのは王室専用機だけでなく、各国の首相などVIPがヨルダン・ハシミテ王国訪問の際は、自ら送迎の車を運転してお出迎えするのが当たり前。

更には、国民の本当の生活を知りたいと、タクシー運転手、新聞記者、老人などに変装し、国内をうろついているとか（但し、ばれることも多いとか）。一度、国王が運転するタクシーに乗ってみたいものです。

そういえば、今年（2017年）、オランダのウィレム・アレクサンダー国王がKLMオランダ航空の旅客機を21年間、副操縦士として操縦していたと明かされましたね。各国の王室に飛行機の操縦が流行っているのでしょうか？

次期国王になられるハシム・ビン・アル＝フセイン王子、やはりアメリカのジョージワシントン大学を卒業されたそうですが、こちらはIT世代。王室やご自身のウェブサイトをご自ら作成、運営したり、SNSでご自身の意見を発信したりと、IT技術を使って国民に呼びかけています。

バイクもお好きなようで、休日には砂漠やワディ（乾季に枯れた河川）をバイクで駆け回っておられるそうです。

[ハシム・ビン・アル＝フセイン王子のウェブサイト](#)（[英語ページ](#)もあります）

（続く）

次回は、（4）「物価」です。

⇒ [バックナンバー](#)

## ■ 関連リンク

- [メールマガジンバックナンバー](#)
- [メールマガジン登録](#)
- [メールマガジン解除](#)

※本メールマガジン上の文書・画像等の無断使用・転載を禁止します。



■ 東京都中央区新川 1-4-1

■ TEL 03-3297-5601 ■ FAX 03-3297-5783

■ URL <http://www.vec.gr.jp> ■ E-MAIL [info@vec.gr.jp](mailto:info@vec.gr.jp)